

海外安全対策情報 平成30年度第4四半期（1月～3月）

1 社会・治安情勢

コナクリ市を含むギニア全体で電気・水などの生活インフラは極めて脆弱であり、コナクリ市郊外でこれに抗議する道路封鎖や投石等による物損被害が頻繁に発生しています。その他、政府に対する抗議活動が頻繁に行われています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

1月にはコヤ県にて、2月にはマム一県、ンゼレコレ県、カンカン県にて強盗殺人事案が発生しています。また、国境、県境周辺や幹線道路沿いでは、長距離タクシーや乗用車を狙った武装強盗による被害も治安当局により確認されています。家族を含め犯罪に巻き込まれないよう、行動には注意を払い、安全を自ら守る心構えが必要です。防犯の心構えとして、当館ホームページに掲載の【安全の手引き】をご覧ください。

(1) 一般犯罪・凶悪犯罪事案（主な事件）

(ア) コヤ県

1月、武装強盗がギニア人ビジネスマンの自宅を襲撃し、金品等を奪い、子供を銃で殺害しました。

(イ) マム一県

2月、武装強盗がタクシーを襲撃し、乗客から金品を強奪しました。1名が死亡、数名が負傷しました。

(ウ) ンゼレコレ県

2月、ナイジェリア人の商人が、現金を奪おうとした強盗にナイフで刺され、殺害されました。

(エ) カンカン県

2月、武装強盗がガソリンスタンドを襲撃し、軍人が殺害され、現金500万ギニアフラン以上及び武器を奪われました。

(オ) シギリ県

3月、ビジネスマンが、武装強盗に銃で撃たれ、現金等の入ったカバンが奪われました。

(オ) コナクリ市（マトト区）

3月、自転車に乗った2名が軍車両に引かれて死亡しました。怒った周辺の住民達が車両に投石、放火等を行い、車両を全焼する事件が起きました。

(2) 邦人被害事案

邦人被害事案は確認されていません。

(3) 在留外国人（邦人以外）の被害事案

ナイジェリア人が強盗被害に遭い、殺害されています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西アフリカ諸国におけるテロ発生を受けて、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

在留邦人、在留外国人の被害事案は確認されていません。

5 対日感情

ギニア国民の対日感情は概ね良好です。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア国民の対日感情は概ね良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的になる可能性は低いと思われま

以上